

木造専用乾式遮音二重床を開発

矢吹の災害公営住宅で採用

RC並みの遮音性能確保へ

スタジオ・クハラ・ヤギ、MIND研究所、ミサワホーム総研、淡路技建、KUS一級建築士事務所は、木造の在来床組工法に乾式遮音二重床を組み合わせて重量床衝撃音Lr160、軽量床衝撃音Lr155とそれぞれ重量床衝撃音13dB、軽量床衝撃音で10dB程度低減できる工法を開発した。「複雑な床の組み合わせでなく木造集合住宅でRCの賃貸マンション並みの床遮音性能にできる」(スタジオ・クハラ・ヤギ)という。

同工法は今年、福島県矢吹町の災害公営住宅として建設された木造集合住宅の床に採用されたもので、災害公営住宅として建設される共同住宅は従来、RC造だったが、RC造の人工不足から木造と二重床を開発した。

梁の天端に構造用合板24ミを敷いた通常の床の上に石膏ボード12・5ミを敷き、その上に乾式遮音二重床を施工、さらに台座としてパーティクルボード15ミ厚40ミ角を載せ、その上にパーティクルボ

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円

©日刊木材新聞社 2016
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

記事の森から
世界が見える

木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports



集成材

お問い合わせ下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

ード20ミ、遮音シート8ミ、硬質石膏ボード15ミ、フローリング12ミを施工する。
天井側にも石膏ボード12・5ミを二重張りする仕様で重量床衝撃音Lr160の性能を確保した。

乾式遮音二重床の天端にあるパーティクルボード20ミの上に台座15ミを載せ、さらにパーティクルボード20ミを施工することで15ミの空気層ができる。重量床衝撃時にこの空気層の空気が抜けることで遮音性能が高まることを期待している。
この床仕様については特許を出願中。乾式での部材の組み合わせでRC造賃貸マンション並みの床遮音性能が確保できることになれば、木造共同住宅の需要拡大にもつながると期待されている。

木 材 商 社
山 会 社 内 山 商 会

本社 東京都世田谷区上北沢5-43-11
TEL(03)3302-9675 代